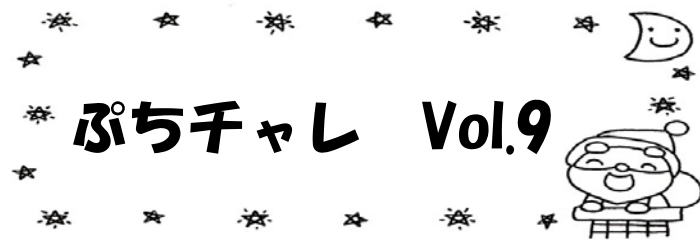




早いもので今年もあと1か月となりました！！年末であわただしい時期ですが、子どもたちは「サンタさんに〇〇お願いした」と一大イベントのクリスマスを楽しみにしているようです。めやすばこ・きっずでもクリスマスや大掃除といったこの時期のイベントを活動内容に取り入れていながら子どもたちに季節の行事を体感して頂けたらと思います。



今回のテーマは「その子の視点に立って考えてみよう！！」です。

日常生活の中で子どもに声かけをしたけど、伝えたことをしなかったり、声かけの意図とは違う行動をしていた・・・という経験をされた方はいませんか？もしかしたらそれは子どもが別の意味としてとらえたり、その声かけの裏を読み取れなかったことが原因になっているかもしれません。

たとえば、

①「お風呂見てきて」の声かけに対して言葉通りにただお風呂を見ているだけ。

→声かけの裏にある『お湯がいっぱいになったらとめて』を読みとれていない。

→具体的に「お風呂のお湯がいっぱいになったら止めて」の方がわかりやすい。

②「ちょっと待ってて」の声かけに対して待てない。

→「ちょっと」がいつまでなのか、なにをして待てば良いのかわからない。

→具体的に「洗濯物干してくるから、DVD観て待ってて」の方がイメージしやすい。

私たちの価値観で子どもの事を考えたり、押し付けたりするのではなく、その子の視点や価値観、物事のとらえ方を基に、その子に合わせた声かけや指示をしていくことが大切です。

☆構造化ってなに??☆



現在、めやすばこ・きっずでは「構造化」という手法を用いて子どもたちのサポートをさせて頂いています。今回は構造化の目的や種類についてご紹介します。

☆構造化とは☆

子どもたちの中には周囲で起こっていることなど様々な情報を意識したり、整理したり調整することが苦手な子がいます。それを補うものとして「構造化」のアイデアがあります。構造化することで「いつ」「どこで」「何を」「どのような方法で」「どうなったら終わりか」「終わったら次に何があるのか」という情報をその子に合わせて視覚的に整理して伝えていくものです。

構造化の目的は子どもたちの苦手なことや特性を補い、周囲で起こっていることを理解しやすく、混乱を少なくし効率的な学習や行動を補うことにあります。そして自立的で豊かな質の高い生活を送ることを目指しています。



☆構造化の種類☆

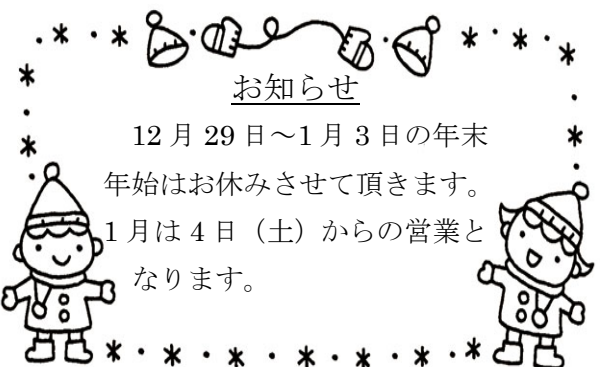
構造化には次の5つのアイデアがあります。

1. 物理的構造化（環境を整えて刺激を統制する。）
2. スケジュール（1日の日程を視覚的に伝える。「いつ」「どこで」「何を」の情報を伝える。）
3. ワークシステム（活動とその終わりなどを視覚的に提示。「何を」「どのくらい」「どうなったら終わりか」「終わったら何があるか」の情報を伝える。）
4. 視覚的構造化（見えるか形でわかりやすく伝える。）
5. ルーティンの活用（いつも同じように伝える。）

それぞれの具体的な方法については次号以降で紹介していきます。

参考文献：「気づき」と「できる」から始めるフレームワークを活用した自閉症支援

特別なサポートのような感じがしますが、私たちの生活の中にもたんさんの構造化があるんですよ（道路標識や時刻表、点字ブロック、ごみ箱の缶やビンの分類表示 等）！！



お知らせ

12月29日～1月3日の年末

年始はお休みさせていただきます。

1月は4日（土）からの営業となります。